

令和6年1月



(一社)山口県浄化槽協会

# 協会たより

## 第97号

●発行所／山口市富田原町1番10号

☎ (083)925-1049

●発行人／福島明則

FAX (083)932-3560



迎春

防府市 防府天満宮

# 目次

## □新年のご挨拶

新年のご挨拶	(一社) 山口県浄化槽協会会長 福島 明則……………	1
年頭挨拶	山口県知事 村岡 嗣政……………	2
年頭所感	衆議院議員 林 芳正……………	3
年頭のご挨拶	衆議院議員 高村 正大……………	4
新年のご挨拶	衆議院議員 岸 信千世……………	5
これからの成長をさらに形づくる一年に	参議院議員 江島 潔……………	6
新年のご挨拶	参議院議員 北村 経夫……………	7
年頭所感	衆議院議員 吉田 真次……………	8

## □行政情報

浄化槽行政の動向について	山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課……………	9
--------------	---------------------------	---

## □協会の動き

令和5年度浄化槽管理士研修会の開催……………	10
浄化槽セミナーのご案内……………	11
業務日誌……………	12

## □浄化槽関係情報

令和5年度前期 法定検査実績(支部別)……………	14
令和5年度前期 法定検査実績(市町別)……………	15
都道府県別汚水処理人口普及状況……………	16
全国浄化槽推進市町村協議会登録浄化槽一覧表……………	17

## □みんなの広場

投稿	山口県山口健康福祉センター 原田 紘佑……………	19
川柳	あかまつ川柳会……………	20
俳句	西田 義秀……………	20



## 新年のご挨拶

(一社) 山口県浄化槽協会  
会長 **福島 明 則**

令和6年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

皆様には、ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、協会の事業並びに運営に対しましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

ご承知のように、浄化槽は、微生物が汚濁物質を分解する力を活用して生活排水の処理を行う日本独自の極めて優れた水処理技術です。短期・低コストで整備でき速やかにその効果が実現すること、地形の制約が小さく自然災害に極めて強いこと、とりわけ住宅散在地域の生活排水の処理を効率的・効果的に行えるなど、長期の施設整備と大型装置によって集合処理を行う下水道とは異なる特長と優位性を備えております。

浄化槽がその性能を発揮していくためには、適正な施工、維持管理・清掃とともに、稼働状態をチェックする年一回の法定検査が欠かせません。

定期健康診断にも例えられる法定検査の受検率は、本県では検査対象ベースで57.6%と約半数が未受検の状態にあり、地域間に残る受検率の較差解消も重要な課題となっております。

このため、私は、行政当局、関係各方面と連携を図りながら、法定検査の意義・必要性に対する浄化槽管理者の意識が高まり受検が促進されるよう啓発の取組を一層進めて参る考えです。

昨年は、3年ぶりに浄化槽セミナーを開催しました。

セミナーは、過去最高の159名の受講があり、アンケートにおきましても高い満足度を示す回答が寄せられるなど、好評裡に終えることができました。引き続き、ホームページなどを活用し、あらゆる情報発信に努めてまいりたいと思います。

令和2年4月に改正浄化槽法が施行されました。

協会としても、法改正を踏まえ、浄化槽管理士研修会の開催や浄化槽台帳の整備に取り組んでまいりました。

また、コンビニ収納の導入など法定検査の受検率の向上に向け、浄化槽管理システムの改修を実施しました。引き続き、浄化槽管理システムの機能強化を進めます。

協会としましては、効率的、効果的な事業運営、組織運営に努め、一層公衆衛生の向上に取り組む所存ですので、皆様方には、引き続きのご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして輝かしい飛躍発展の年となりますように心より念願いたしまして年頭のご挨拶といたします。



## 年 頭 挨拶

山口県知事 **村 岡 嗣 政**

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、本年が一般社団法人山口県浄化槽協会の皆様にとりまして、より良い年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から、浄化槽の適正管理を通じて、県民の快適な生活環境の確保や水質の保全、公衆衛生の向上に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍を乗り越え、初めての新年を迎えました。全世界で人流・交流が活発化し、日本経済が改善しつつあることから、これを追い風に、県づくりを新たなステージに引き上げていかなければなりません。

また、デジタル化・脱炭素化等の様々な社会変革を推進力にしながら、本県の経済や暮らしをより高いレベルに上げていくためには、県政の課題に対する取組についてスピード感を持って進めていく必要があります。

そのため、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、「やまぐち未来維新プラン」に基づき、産業維新・大交流維新・生活維新の「3つの維新」の取組を一層加速し、「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」の4つの視点を踏まえ、「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向けて全力で取り組むとともに、大きく飛躍していく一年にしていきたいと考えています。

こうした中、貴協会の皆様におかれましては、浄化槽の設置から維持管理までを総合的に担われ、浄化槽機能の信頼性向上はもとより、県民の安定的な生活の確保や社会の安定維持に多大な御貢献をいただいているところであり、皆様のためまぬ取組は、県政推進の大きな力となっています。

県としては、今後とも、貴協会の皆様や市町等と連携し、浄化槽法の趣旨を十分に踏まえながら、生活環境の保全と公衆衛生の向上に取り組んでまいりますので、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人山口県浄化槽協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





## 年頭所感

内閣官房長官

衆議院議員 **林 芳正**

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人山口県浄化槽協会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げますとともに、貴協会におかれましては、浄化槽に対する各種施策等を通じて、生活環境の保全と公衆衛生行政の向上に大きく寄与されており、そのご努力に対し深甚なる敬意を表します。

さて、2021年10月に衆議院議員として当選させて頂いてから2年間にわたり外務大臣を拝命し、激変する環境の中で責任の重さを感じながら外交に取り組んでまいりましたが、昨年9月の内閣改造におきまして外務大臣を退任いたしました。外務大臣就任期間は、歴史の転換期ともいべき時期でしたが、あっという間に駆け抜けたという印象です。多くの外交案件がありましたが、とりわけ就任数か月後に起こったロシアによるウクライナ侵略については、日本としての対応に加えG7としての対応に腐心するとともに、軽井沢でのG7外相会議からG7広島サミットへの道筋をつけたほか、日韓関係の改善にも力を尽くして参りました。

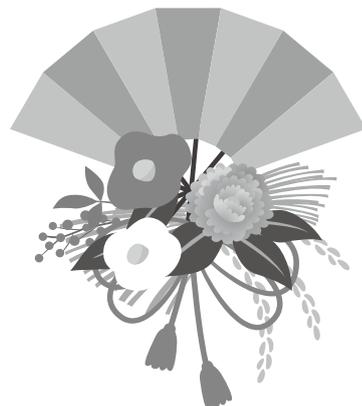
外務大臣退任後は、自民党の運営及び国会活動に関する重要事項を審議決定する自民党総務会総務として、そして連立を組む公明党ともに日本の税体系を論議する自民党税制調査会小委員長に就任し、持続的な賃上げや定額減税の制度設計を通じて日本経済のデフレ脱却を目指します。

この困難な時代に国政を担うものとして、本年も引き続き、普遍的価値を守り抜く覚悟、日本の平和と安全を守り抜く覚悟、そして、地球規模の課題に向き合い国際社会を主導する覚悟、これら

3つの覚悟を持って、多岐にわたる政治課題に真正面から取り組む決意です。また、昨年は、一票の格差を是正するため衆議院選挙区の区割りが変更され、新たに区割りされた自由民主党山口県第三選挙区支部長に就任いたしました。支部長としての責任の大きさを実感するとともに、山口県支部連合会の更なる結束をはかり、地域や我が国の未来を創っていくために果敢に取り組んで参る覚悟です。

昨年12月に、内閣官房長官を拝命するとともに、拉致問題と沖縄基地負担軽減担当大臣を兼務することになりました。内閣官房長官として、国政全般にわたって政権を支え、危機管理、政府の総合調整機能、政府のスポークスマンとしての役割等、与えられた職責をしっかりと果たしていくほか、拉致問題及び沖縄基地負担軽減についても全力で取り組んで参ります。

結びに、一般社団法人山口県浄化槽協会のますますのご発展と皆様のご健勝ご多幸を心より祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。





## 年頭のご挨拶

衆議院議員 **高村正大**

新年あけましておめでとうございます。

昨年、我が国は、G7議長国として、広島サミットを開催しました。世界がロシアによるウクライナ侵略という国際秩序を揺るがす課題に直面している時だからこそ、G7各国を始めとする首脳が被爆地を訪れ、「核兵器のない世界」に向けた歩みを進めた姿は、世界中の注目を集めました。

国際社会が歴史的な転換期を迎える中、昨年9月に発足した第二次岸田第二次改造内閣において外務大臣政務官を拝命しました。我が国がこれまで様々な国と積み重ねてきた関係を、私自身が、更に一步二歩と前に進めていけるよう世界中を飛び回っております。以前、務めさせて頂いた財務大臣政務官の経験も活かしながら外交と内政を車の両輪として論じ、それらの政策を実現させるための国会運営にも目配りしながら、我が国の平和と安定、そして地域の未来を守り抜いてまいり所存です。

さて、国内経済に目を転じれば、苦しかったコロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあります。

他方で、輸入物価の上昇による物価高は、未だ国民生活を圧迫しています。

物価高騰により厳しい状況にある方々に対しては、これまでも、累次の補正予算や予備費の活用により、燃料油、電気・ガス価格の激変緩和措置による負担軽減、低所得者世帯に対する各種の給付措置など、切れ目ない支援を届けることで、国民の生活や事業活動をお支えしてきたところです。

昨年11月に決定した総合経済対策においては、所得税・個人住民税の定額減税に加え、物価高に最も切実に苦しんでいる低所得者世帯の方々への給付、燃料油や電気・ガス料金の激変緩和措置の今年春までの延長などの対策を講じることとしており、物価高に苦しむ生活者・事業者の皆様にはしっかりと支援をお届けしてまいります。

令和5年度税制改正においては、NISAの抜本的拡充・恒久化や、企業の成長を先導する人材や高度な研究人材といった「人への投資」の強化などが盛り込まれました。

来年度税制改正においては、先ほど申し上げた定額減税に加え、賃上げ促進税制の強化を通じ、デフレ脱却に向けた道筋をしっかりと描いてまいります。さらに、生産性を向上させる攻めの投資を促すため、蓄電池や半導体等への戦略的な長期投資を可能とするための新たな税制も講じます。あわせて、中小企業の円滑な世代交代を促進するため、事業承継税制の特例承継計画の期限を延長します。

最後に、皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げるとともに、今後とも、皆様からのご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

衆議院議員 岸 信千世

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

国会に於きましては、現在、財務金融委員会、文部科学委員会に所属しており、日夜奮闘を重ねております。

わが国の少子化問題は急激な減少傾向にあり社会を維持できるかどうか危ぶまれています。こうした中、政府においても「こども未来戦略方針」への具体化が加速され、新たに政府は「デジタル行財政改革会議」を設置いたしました。特に労働者不足はあらゆる分野で社会課題化しております。

不要な規制を撤廃し時代に即したスキームや技術の導入を実施し社会改革を推し進める必要があります。

私も自民党デジタル社会推進本部事務局次長として今後、努力してまいりますと考えています。

今や世界的に脱炭素の機運が高まる中、わが国では2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現という国際公約を掲げ、その実現に取り組むを推進しております。

わが山口県でも基礎素材型産業が集積する「周南コンビナート」「岩国大竹コンビナート」「宇部・山陽小野田コンビナート」はその特性上、大量の温室効果ガスを排出することからコンビナートの産業競争力維持・強化と脱炭素化の両立にむけて国、県・関連各市・民間が連携して、山口県コンビナート連携会議を設置して脱炭素に向けた取組を進めています。

今後、コンビナートのカーボンニュートラル実現を目指して参りたいと考えています。

また今年には防衛省の予算の大幅増額が見込まれています。わが国の防衛力や日米同盟、各国の安全保障協力の強化に取り組むことがわが国の平和を守り、国際社会への貢献を果たすことができると確信しています。

地元、岩国基地は我が国周辺安全保障上極めて重要な施設であります。一方で周辺地域の安全対策や騒音防止対策などに十分対応して参りたいと考えています。

いまや地域においてもデジタル化が進み、このような変化に対しての地場産業の育成や人材の確保が急がれています。それと並行して、産業の基礎となるインフラ整備を充実させることは企業の拠点を作るだけでなく新たな物流網をつくり、人の流れや雇用問題、観光誘致、高齢者の住みやすい環境づくりなどに対する大きな要因になると考えられます。

特に山口県東部では「岩国、大竹道路」「岩国南バイパス」「岩国西バイパス」を促進し国道188号線をつなぐことにより新たな道路網が完成します。またコンビナートの国際競争力強化に向けた徳山、下松港の連結により国際バルク戦略港の整備促進も進んでいますが脱炭素社会の実現に向けてのカーボンニュートラル形成計画も進行中です。

国の基本は地域にあります。これからも将来に向かって国民の生活と国民の未来を守っていくために全力を尽くします。

末筆になりますが、本年も皆様にとって益々飛躍の年でありますこととお祈り申し上げます。



## これからの成長をさらに形づくる一年に

参議院議員 **江島 潔**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

(一社) 山口県浄化槽協会の皆様方には、日頃より、水質検査、浄化槽に関する普及啓発及び浄化槽の機能保証に関する事業等を行い、生活環境の保全と公衆衛生の向上に多大なご貢献を頂いておりますことに、心から敬意を表させて頂くとともに、厚く感謝申し上げます。

昨年9月に第2次岸田第2次改造内閣が発足し、私は自由民主党副幹事長を拝命いたしました。党運営を司る幹事長を支えることが職務で、党役員会で決まった方針などを各政策集団に伝える役割などを担います。職責を果たすべく精励して参ります。

国内では、コロナ禍を越え社会経済活動が本格的に動き出しました。この動きを加速させるため、厳しい状況にある生活者、事業者の方々をしっかり支え、足下の急激な物価高から国民生活を守り、持続的賃上げに取り組めます。

人口減少、とりわけ生産年齢人口の減少が進む中、働き手不足は深刻です。一方で、デジタル化等によってそれを補い、生産性の向上を図る余地が増えていることが指摘されています。

例えば、水産業では、海の中にいる魚群をICT技術や衛星情報を活用して可視化する「スマート水産業」の取り組みなどは高齢化に伴う担い手不足に対応して、より効率的な水産業を実現していくために必要です。このようなテクノロジーを現場にしっかりと根付かせていくことが、大幅な生産性の向上、担い手の確保、所得の向上につながります。農林水産業のDXを推進するとともに再

開から6年を迎える商業捕鯨も今春の新捕鯨母船の就航に呼応して引き続き応援していきます。

2050年カーボンニュートラルの実現は、並大抵の努力では実現できず、エネルギー・産業部門の構造転換、大胆な投資によるイノベーションの創出といった取組を、大きく加速することが必要です。特に山口県のエンジンとも言うべき瀬戸内海沿岸のコンビナート群は、わが国の基幹産業として経済的発展を支え、多くの雇用を創出しています。脱炭素化に対応した製造・供給拠点として変革するために必要な技術開発のための経済的支援を後押しします。

これらの施策の土台となるのは科学技術です。科学技術分野の人材育成を促進し、デジタル、グリーン、人工知能、量子、バイオなど先端科学技術の研究開発に大胆な投資を行い科学技術立国・日本を目指します。

産業立地、競争力強化、観光振興に加え、中山間地域の維持など、地域の連携、自立・活性化の観点からインフラ整備は必要です。山口県で進行している山陰自動車道、下関・北九州道路の整備、徳山・下松、宇部港で期待されるカーボンニュートラルポート等、港湾事業などインフラ整備事業を着実に前に進め、農林水産業や観光業など基幹産業と連携させて振興を図り、山口県の発展に繋げていきます。

結びに令和6年の干支「甲辰（きのえたつ）」にあやかり、これからの成長をさらに形づくる一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

参議院議員 **北村 経夫**

皆様におかれましては、恭しく希望ある「辰年」を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。辰年は龍が舞い踊る年。過去の経験から学び、新たな一歩が更なる飛躍へと繋り未来への道を切り開く年となりますよう切に願います。山口県浄化協会関係各員の皆様には平素より浄化槽の普及促進・啓発、適切な設置・維持活動に多大なるご尽力を頂いておりますことに衷心より深く感謝申し上げます。

さて、いま世界は長引くウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ紛争で無辜の民の生活が脅かされ極めて悲劇的な状況が続き、さらに食料エネルギー高騰も加わって、国際情勢は混迷を極めております。国際社会が協力を高め一刻も早く停戦の実現など、平和的解決策を模索することが必要です。全ての国が法の支配に基づき「人間の尊厳」が守られ、秩序と国際法の尊重の再構築のために日本が率先して努めなければなりません。今後も毅然とした外交・安全保障により、我が国の領土、国益、国民の生命の堅持はもとより世界平和のため身を賭す覚悟で取り組んで参ります。

昨年末、日本で開催された「日本 ASEAN 友好50周年を記念した特別首脳会議国」では、加盟国10カ国総人口6.7億人を上回る地域が脱炭素、観光、農業、海洋安全保障、文化、教育、スポーツ、人的交流等の幅広い分野の協力を推し進めることで合意しました。人口減少に伴う第一次産業、中小企業の担い手不足、労働者不足は深刻な問題であり、再生可能エネルギーの導入や環境保護活動等の新たな産業構造や技術の導入を目指すこと

が不可欠です。国際経済連携を強め、質の高い貿易や投資策を早期に確立し、より綿密に国と地域で連携を図ることで地域経済の活性化、時代に即した産業構造の変革に努めて参ります。

また、世界的な環境が激化し、温暖化に伴う食料安全保障の再構築、甚大な自然災害から国民の生命を守る強靱な防災、減災のインフラ拡充が重要課題となっております。貴協会の長年のご尽力により、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換が進み、わが国の汚水処理人口普及率は年々上昇を続けておりますが、未だ汚水処理が未整備の集落や僻地が点在しております。少子高齢化・人口減少問題、行政の財政難とわが国の直面する喫緊課題は山積しており、将来的な財政負担の軽減を目指すなどこれらの社会経済環境を踏まえながら、令和2年より施行された浄化槽法の下、適切で持続可能な衛生的国民生活を堅持することが必要不可欠です。

国民の生活の恒久的平和を堅持するため、真摯な活動で最善の政策を模索し、実現して参りますので、本年も引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会のますますのご隆盛と会員の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

## 年 頭 所 感



衆議院議員 **吉 田 真 次**

山口県浄化槽協会の皆さまには、令和6年の新春を健やかに迎えのことに、心よりお喜び申し上げます。

昨年の補欠選挙では、皆さまから温かいご支援を賜り初当選を果たすことができました。あらためて深く感謝を申し上げますとともに、国会議員として国政、県政、市政と連携を取りながら、激動する社会経済活動から生じうる多様で複雑な諸課題に全力で取り組んで参ります。

現在、日本の経済状況は、コロナ過を乗り越え徐々に改善しつつあります。しかし世界的にエネルギー・食料品価格が高騰する中、国民生活を守るため、経済対策の大きな柱である賃上げを実現し、経済の好循環を生み出していく必要があります。

また、北朝鮮の度重なるミサイル発射や中国の軍事的拡張、イスラエルとハマスの軍事衝突、ロシアによるウクライナ侵略など、我が国を取り巻く安全保障環境も厳しさを増している状況です。

国際的な脅威が高まる現在、日本と世界の平和と安定を守るためにも憲法改正は実現しなければなりません。

美しく誇りある国の実現に向けて、ふるさと山口県のため、全力を尽くして参ります。

さて、山口県の汚水処理人口普及率はおよそ90%に達しておりますが、人口が分散する中山間地域においても普及率を上昇させ100%を達成するためには、浄化槽の役割が不可欠です。

現在高齢者や単身世帯が増える中、浄化槽が整備されている場合においても単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換は進んでおらず、単独処理浄化槽を利用し続けている方が一定数残っている

のが現状です。全ての単独処理浄化槽が合併処理浄化槽に転換されるよう、働きかけを行っていくとともに、それに伴う住民負担軽減のための支援にもしっかり取り組んでいかなければなりません。

より良い生活環境を整えるため、協議会等を通して合併処理浄化槽への転換を含めた浄化槽の施設整備、浄化槽台帳の整備、浄化槽の適切な維持管理の実施等について、関係者の連携や地域の実情に応じた取り組みが実施されています。

重ねて、近年は地震や豪雨などの災害が増加傾向にあり、被災時の汚水処理施設の復旧を早期に進めるためにも、浄化槽設置者、市町村、各業者が更なる連携を図ることができるよう、具体的な対応についても検討が行なわれております。

こうした貴協会の行う維持管理、保守点検、清掃、法定点検等の業務一つ一つにより快適な生活環境の保全と公衆衛生の向上が図られており、極めて重要なものであると考えております。

今後も浄化槽事業の推進を通じ、山口県そして我が国の環境保全を図ることを目指し、浄化槽業界のご意見、ご要望を受け止め、皆様と共にその実現に向けて取り組んで参る所存です。

最後になりましたが、山口県浄化槽協会の益々のご発展と関係の皆様方のさらなるご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 行政情報

### 浄化槽行政の動向について

山口県環境生活部  
廃棄物・リサイクル対策課

#### 1 浄化槽保守点検業登録申請等の電子申請サービス開始について

浄化槽保守点検業更新申請の利便性向上のため、令和5年10月より「やまぐち電子申請・届出サービス」での手続を開始しました（下関市での申請は除く）。なお従来の紙面による申請も引き続き対応しています。

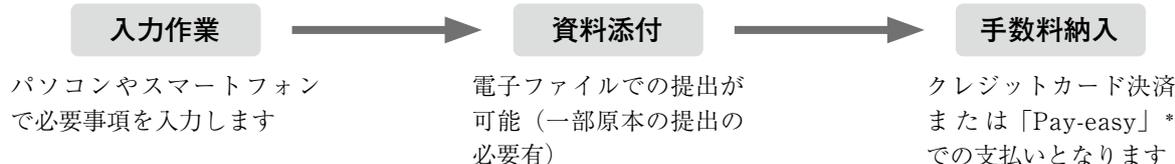
新たに電子申請が可能な申請手続き	手数料
浄化槽保守点検業者の登録・更新申請	新規：32,270円 更新：27,230円
浄化槽保守点検業者登録簿謄本交付請求	1枚： 340円
浄化槽保守点検業者登録証書換え交付申請	1,780円
浄化槽保守点検業者登録証再交付申請	2,340円



電子申請は  
こちらから手続きが  
可能です

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/40/20741.html>

#### 〈申請の流れ〉



\* 「Pay-easy」（ペイジー）とは、ネットショッピングや税金などの支払いを、金融機関の窓口やコンビニのレジに並ぶことなくパソコンやスマートフォン・ATM から支払うことができるサービスです。



「やまぐち電子申請・届出サービス」では浄化槽法に基づく以下の手続きも可能です。

浄化槽使用開始報告書、浄化槽管理者変更報告書、浄化槽使用廃止届出書

※下関市及び権限委譲市（山口市、萩市、長門市、周南市）を除く。

#### 2 浄化槽の維持管理に関する普及啓発について

県では、10月の『循環型社会形成推進月間』にあわせて10月1日の『浄化槽の日』に関連する普及啓発として、浄化槽の維持管理に関するパネル展示や浄化槽の設置者に対する講習会等を行いました。

法定検査を含めた適正な維持管理の徹底は、県・市町・関係事業者等が適切な役割分担の下、連携・協力していくことが必要です。

貴協会の皆様には、今後とも、一層の御協力をお願いします。



県庁1F エントランスホールでのパネル展示

## 協会の動き

### 令和5年度浄化槽管理士研修会の開催

山口県及び下関市の依頼を受けて(一社)全国浄化槽団体連合会及び(公財)日本環境整備教育センターの協力のもと、次のとおり浄化槽管理士研修会を開催しました。

- 1 日 時 令和5年10月20日(金) 10:00~15:30
- 2 場 所 山口県健康づくりセンター 多目的ホール
- 3 受講者数 135人
- 4 研修内容
  - (1) 浄化槽行政の動向、浄化槽の構造と機能、浄化槽の保守点検と清掃  
講 師 公益財団法人 日本環境整備教育センター  
講師・研究グループリーダー 古市 昌浩 様
  - (2) 山口県の浄化槽情報  
講 師 山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課  
主 査 國弘 誠司 様



## 浄化槽セミナーのご案内

浄化槽関連分野の従事者、浄化槽による水質保全に関心を持つ県民等を対象として、専門性の高い実務的なセミナーを下記により開催します。

受講料は無料です。是非ご聴講ください。

### 記

- 1 主 催 (一社) 山口県浄化槽協会  
山口県環境整備事業協同組合
- 2 後 援 山口県  
山口県合併処理浄化槽普及促進協議会
- 3 日 時 令和6年2月14日(水) 13:30~16:30
- 4 場 所 山口県健康づくりセンター2階 多目的ホール  
(山口市吉敷下東3丁目1-1)
- 5 講師と講義内容  
講 師 フジクリーン工業株式会社広島営業所 野津史哉 様、勇木賢志 様  
内 容 「フジクリーン浄化槽と維持管理」 シェア No. 1 メーカーの技術力  
講 師 アムズ株式会社営業推進部工場生産品支援グループ課長 糸尾寿紀 様  
内 容 「アムズ浄化槽の維持管理のポイント」
- 6 受講料及び受講申込先
  - (1) 受 講 料 無 料
  - (2) 受講申込 資料等の準備のため、事前にお申し込みください。  
事務局 (一社) 山口県浄化槽協会事務局  
〒753-0054 山口市富田原町1-10  
電話 083-925-1049 FAX 083-932-3560  
\*当日、会場受付での申込にも対応します。

## 業 務 日 誌

自 令和5年4月1日

至 令和5年12月31日

月日	会議・行事名	内 容	場 所
4	1 人事異動	・ 再任用採用 1名	事 務 局
	28 会員等への情報提供	・ 浄化槽施工マニュアル等	事 務 局
5	9 監査	・ 令和4年度事業及び決算	事 務 局
	11 理事会（第1回）	・ 第49回通常総会について	山 口 市 （ 防 長 苑 ）
		・ 令和4年度事業報告、収支決算報告について	
		・ 令和5年度事業計画及び収支予算（案）	
		・ 役員を選任について	
	17 会員等への情報提供	・ 二酸化炭素補助事業要綱	事 務 局
	17 総会開催通知	・ 第49回通常総会の開催案内を発送	事 務 局
29 全浄連第46回理事会	・ 令和4年度事業報告・収支決算について ・ 第11回定時総会決議（案）について	事 務 局 （ T V 会 議 ）	
30 山口県合併推進協議会総会	・ 山口県合併推進協議会総会で講演（事務局次長）	山 口 市	
6	1 人事異動	・ 養成職員採用1名	事 務 局
	2 全浄連中国地区協議会 関連行事	・ 一般社団法人島根県浄化槽協会設立50周年記念式典および祝賀会に参加（内山会長）	松 江 市
	6 第49回通常総会	・ 令和4年度事業報告及び収支決算報告	山 口 市 （ 防 長 苑 ）
		・ 令和4年度公益目的支出計画実施報告書	
		・ 令和5年度事業計画及び収支予算	
		・ 役員を選任	
	6 第2回理事会	・ 会長、副会長、顧問の選任	同 上
	7 会員等への情報提供	・ 第49回通常総会議案書を発送	事 務 局
		・ 全浄連ニュース（第177号）	
	13 新・旧会長あいさつ	・ 福島会長、内山顧問が県環境生活部長に会長就任・退任あいさつ	県 庁
	20 全浄連中国地区協議会 総会	・ 令和4年度事業報告及び収支決算報告について	広 島 市
・ 令和5年度事業方針案及び予算案について			
・ 全浄連の理事、評議員、各委員会委員等の推薦			
27 全浄連 第11回定時総 会	・ 令和4年度事業報告及び決算報告	東 京 都	
	・ 令和5年度事業計画及び収支予算案		
	・ 役員（理事）の選任について		
27 全浄連第47回理事会	・ 副会長の選任	東 京 都	
30 人事異動	・ 退職者1名	事 務 局	

7	3	会員等への情報提供	・ 役員、会員名簿発送	事 務 局
	11	大島浄化槽協会総会	・ 大島浄化槽協会総会に参加	周 防 大 島 町
8	4	山口地区浄化槽協会総会	・ 山口地区浄化槽協会総会に会長参加	山 口 市
	18	ハートピア共済永年加入事業所の表彰	・ ハートピア共済永年加入事業所の表彰に参加	防 長 苑
	18	阿東地区浄化槽協会総会	・ 阿東地区浄化槽協会総会に会長参加	山 口 市
	22	全浄連第48回理事会	・ 賛助会員の入会について	事 務 局 ( T V 会 議 )
			・ 令和5年度要望書案について	
	25	会員等への情報提供	・ 協会だより (第96号)、全浄連ニュース (第178号)	事 務 局
	30 ∪ 31	中国地区指定検査機関意見交換会	・ 中国地区指定検査機関意見交換会に参加 (3名)	松 江 市
31	人事異動	・ 退職者1名	事 務 局	
9	15	職員会議	・ 法定検査について	セントコア山口
			・ 浄化槽管理システムの改修について	
	23	人事異動	・ 退職者1名	事 務 局
26	浄化槽担当者講習会	・ 浄化槽担当者講習会に講師派遣	事 務 局 ( T V 会 議 )	
10	2	全国浄化槽大会	・ 「浄化槽の日」の記念行事に会長参加	東 京 都
	10 ∪ 12	全国浄化槽技術研究集会	・ 役員、職員を派遣 (行政担当者・検査員研究会等)	横 浜 市
	18	浄化槽推進議員連盟総会	・ 浄化槽推進議員連盟総会に会長参加	東 京 都
	18	浄化槽整備推進議員懇話会	・ 浄化槽整備推進議員懇話会に会長参加	東 京 都
	18	全浄連第49回理事会	・ 要望書に対する決議について	東 京 都
	20	浄化槽管理士研修会	・ 浄化槽管理士研修会を開催 (参加者135名)	山 口 市 (総合保健会館)
11	9	全浄連方式浄化槽管理士研修会説明会	・ 全浄連方式浄化槽管理士研修会説明会に参加	事 務 局 ( T V 会 議 )
	16	支部長会議	・ 支部の運営・法定検査について	セントコア山口
	27	会員等への情報提供	・ 全浄連ニュース (第179号)	事 務 局
12	14	理事会 (第3回)	・ 令和5年度中間事業報告、中間決算について	山 口 市 (セントコア)
			・ 令和5年度補正予算について	
			・ 浄化槽管理システム機材の更新について	
			・ 就業規則の改正について	
			・ 令和6年度事業計画並びに収支予算について	
		会員等への情報提供	・ 令和5年度浄化槽セミナー開催の案内	事 務 局

## 浄化槽関係情報

支部名	令和4年度実績				令和5年度実績(4月～9月)								
	検査対象基数		法定検査		法定検査		検査依頼発送・受理状況						
	単独	合併	計A (4月～9月)B	前期 (10月～3月)	後期 (10月～3月)	計	実施基数 C	対前年差 (C-B)	発送 D	送対象基数比 D/A%	再発送	受理 E	対発送件数比 E/D%
岩国	15,212	12,219	27,431	5,253	5,304	10,557	5,501	248	15,977	58.2%	12,090	4,181	26.2%
柳井	4,861	6,505	11,366	2,846	3,201	6,047	2,814	△32	6,402	56.3%	3,871	3,165	49.4%
周南	3,849	4,995	8,844	3,207	3,294	6,501	3,166	△41	3,879	43.9%	1,445	3,190	82.2%
防府	3,773	7,721	11,494	3,302	3,200	6,502	3,153	△149	6,339	55.2%	2,941	3,204	50.5%
山口	1,156	8,120	9,276	3,549	3,844	7,393	3,617	68	4,422	47.7%	1,451	3,494	79.0%
阿東	232	1,245	1,477	832	487	1,319	832	0	923	62.5%	211	824	89.3%
宇部	2,345	10,393	12,738	4,040	4,319	8,359	4,133	93	6,734	52.9%	2,394	4,109	61.0%
美祢	541	2,552	3,093	1,078	1,441	2,519	1,190	112	1,415	45.7%	338	1,182	83.5%
長門	461	892	1,353	665	454	1,119	643	△22	1,006	74.4%	201	245	24.4%
萩	1,116	3,644	4,760	1,235	1,428	2,663	1,333	98	3,351	70.4%	1,666	1,387	41.4%
豊浦	2,710	3,468	6,178	2,349	2,273	4,622	2,225	△124	2,911	47.1%	963	2,374	81.6%
下関	7,653	4,011	11,664	2,661	2,884	5,545	2,691	30	5,559	47.7%	1,633	2,662	47.9%
合計	43,909	65,765	109,674	31,017	32,129	63,146	31,298	281	58,918	53.7%	29,204	30,017	50.9%

## 令和5年度前期 法定検査実績（市町別）

市町名	令和4年度 検査対象基数	検査基数（前期）		年度 比較	受検率%	（参考） R4年度実績	
		R5 (4月～9月)	R4 (4月～9月)			件数	受検率%
	A	B	C	B-C	B/A		
岩国市	27,338	5,500	5,249	251	20.1%	10,469	38.3%
和木町	93	1	4	△3	1.1%	88	94.6%
柳井市	4,845	1,751	1,815	△64	36.1%	2,028	41.9%
周防大島町	2,879	915	893	22	31.8%	2,014	70.0%
上関町	294	96	107	△11	32.7%	180	61.2%
田布施町	2,275	48	28	20	2.1%	1,224	53.8%
平生町	1,073	4	3	1	0.4%	601	56.0%
下松市	1,962	1,378	1,399	△21	70.2%	1,491	76.0%
光市	3,037	341	321	20	11.2%	1,685	55.5%
周南市	3,845	1,447	1,487	△40	37.6%	3,325	86.5%
防府市	10,321	2,284	2,402	△118	22.1%	5,534	53.6%
山口市	11,926	5,318	5,281	37	44.6%	9,680	81.2%
宇部市	7,401	895	777	118	12.1%	4,783	64.6%
山陽小野田市	5,337	3,238	3,263	△25	60.7%	3,576	67.0%
美祢市	3,093	1,190	1,078	112	38.5%	2,519	81.4%
長門市	1,353	643	665	△22	47.5%	1,119	82.7%
萩市	4,592	1,278	1,170	108	27.8%	2,540	55.3%
阿武町	168	55	65	△10	32.7%	123	73.2%
下関市	17,842	4,916	5,010	△94	27.6%	10,167	57.0%
合計	109,674	31,298	31,017	281	28.5%	63,146	57.6%

（注）法定検査の実施時期等により、前年度との差を生じる場合があります。

## 都道府県別汚水処理人口普及状況

(令和4年度末)

都道府県名	汚水処理人口 普及率	順位	総人口 (千人)	汚水処理 人口計 (千人)							
					下水道 (千人)	農業集落 排水施設 等 (千人)	合併処理 浄化槽 (千人)	うち 公共浄化槽 等整備推進 事業等分 (千人)	うち 浄化槽設置 整備事業分 (千人)	うち 左記以外分 (千人)	コミュニ ティ ・プラント (千人)
北海道	96.3%	10	5,113	4,925	4,698	62	166	52	69	45	0
青森県	82.3%	42	1,215	1,000	764	105	130	11	42	76	0
岩手県	84.9%	35	1,182	1,004	747	92	164	39	96	28	1
宮城県	93.3%	17	2,247	2,096	1,876	62	157	40	78	38	2
秋田県	89.2%	26	934	833	639	86	108	18	68	22	0
山形県	94.2%	14	1,036	976	817	70	89	19	45	24	0
福島県	86.3%	34	1,791	1,546	992	114	440	37	259	143	0
茨城県	87.4%	31	2,871	2,509	1,866	151	485	14	215	255	9
栃木県	89.3%	25	1,923	1,718	1,331	77	309	6	245	57	1
群馬県	84.2%	38	1,924	1,620	1,084	116	400	24	255	121	19
埼玉県	93.7%	16	7,376	6,913	6,134	88	691	25	188	478	1
千葉県	90.6%	20	6,307	5,715	4,861	46	801	10	284	506	8
東京都	99.8%	1	13,870	13,846	13,816	2	26	5	8	13	2
神奈川県	98.4%	5	9,214	9,065	8,946	3	115	4	39	72	0
新潟県	89.7%	22	2,152	1,930	1,683	120	127	13	35	79	0
富山県	97.7%	8	1,024	1,000	892	80	27	1	17	9	1
石川県	95.2%	12	1,113	1,059	952	51	53	10	12	31	2
福井県	97.4%	9	756	736	627	81	28	2	22	4	0
山梨県	86.3%	33	809	698	556	15	123	8	50	66	4
長野県	98.3%	7	2,034	1,999	1,731	152	115	15	82	17	1
岐阜県	94.0%	15	1,974	1,855	1,539	103	209	9	137	63	4
静岡県	84.9%	36	3,620	3,074	2,373	27	663	15	411	237	12
愛知県	92.8%	18	7,496	6,956	6,073	134	739	22	236	481	9
三重県	89.0%	28	1,765	1,572	1,059	92	417	17	228	173	4
滋賀県	99.1%	2	1,411	1,399	1,306	59	34	0	15	19	0
京都府	98.6%	4	2,494	2,459	2,379	38	42	11	22	9	0
大阪府	98.4%	6	8,774	8,630	8,492	1	138	4	25	109	0
兵庫県	99.0%	3	5,441	5,388	5,117	128	94	9	60	25	49
奈良県	90.8%	19	1,321	1,199	1,094	6	98	3	36	60	1
和歌山県	69.4%	46	920	638	271	41	326	13	200	113	0
鳥取県	95.8%	11	543	521	403	90	28	4	13	11	0
島根県	83.0%	41	654	543	340	90	109	28	51	30	4
岡山県	88.6%	29	1,858	1,645	1,301	35	309	17	206	86	0
広島県	90.3%	21	2,760	2,492	2,132	49	310	14	158	137	1
山口県	89.5%	23	1,318	1,180	908	58	214	6	135	73	0
徳島県	67.4%	47	715	481	138	19	319	15	173	131	5
香川県	81.1%	44	952	772	444	14	314	12	248	53	0
愛媛県	83.0%	40	1,320	1,096	756	36	303	24	168	112	1
高知県	77.9%	45	680	530	284	20	224	12	135	77	1
福岡県	94.3%	13	5,091	4,799	4,277	51	462	52	276	134	8
佐賀県	87.0%	32	803	699	514	57	129	50	58	21	0
長崎県	83.6%	39	1,296	1,084	834	47	198	14	147	38	5
熊本県	89.4%	24	1,730	1,546	1,221	65	261	33	177	51	0
大分県	81.8%	43	1,118	914	610	30	273	11	181	82	1
宮崎県	89.2%	27	1,062	947	653	46	248	19	185	44	0
鹿児島県	84.8%	37	1,580	1,340	688	39	608	44	430	135	5
沖縄県	87.6%	30	1,479	1,295	1,066	71	158	13	6	140	0
全国計	92.9%		125,065	116,242	101,280	3,018	11,784	825	6,229	4,730	160

(注) 1. 整備人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。

2. 令和4年度調査は、福島県において、東日本震災の影響により調査不能な町(大熊町、双葉町)を除いた値を公表している。

3. 福島県については、上記市町以外でも東日本震災に伴う避難の影響により人口が流動していることに留意する必要がある。

(出典：環境省ホームページ)

## 全国浄化槽推進市町村協議会登録浄化槽一覧表

令和5年10月27日現在 34登録 12社

	登録番号	社名	型式名	登録年月日	登録有効期限
1	1440705	アムズ(株)	アムズCXP-5,7,10型	H10.4.14	R8.4.13
2	1551605	(株)西原ネオ	ネオ浄化そうMCB2 $\alpha$ -5,7,10型	H10.12.18	R8.12.17
3	2221004	(株)ハウステック	KBR1-5,7,10型	H17.12.16	R10.12.15
4	2441003	(株)ハウステック	KGRN-5,7,10型	H20.4.18	R8.4.17
5	2460604	(株)クボタ	クボタ浄化槽KJ-5,7,10型	H20.8.22	R9.8.21
6	2470503	積水ホームテクノ(株)	セキスイ小型合併処理浄化槽SGCN-5,7,10型	H20.8.22	R8.8.21
7	2490603	ニッコー(株)	ニッコー小規模浄化槽浄化王-5,7,10型	H20.10.24	R6.10.23
8	2500603	ニッコー(株)	ニッコー小規模浄化槽浄化王x-5,7,10型	H20.10.24	R6.10.23
9	2570403	アムズ(株)	アムズCXF-5,7,10型	H21.10.23	R9.10.22
10	2630403	アムズ(株)	アムズCXN2-5,7,10型	H22.8.26	R8.8.25
11	2650602	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCEN-5,7,10型	H24.3.1	R7.2.28
12	2680403	(株)ダイキアクシス	ダイキ浄化槽XC-5,7,10N型	H24.6.22/ H25.2.28	R6.6.21
13	2690503	大栄産業(株)	ダイエー浄化槽FDR-5,7,10型	H24.6.22/ H25.2.28	R6.6.21
14	2700402	(株)クボタ	クボタ浄化槽KXF-5,7,10型	H24.6.28	R7.6.27
15	2750402	(株)クボタ	クボタ浄化槽HS II-5,7,10型	H25.8.22	R8.8.21
16	2760402	ニッコー(株)	ニッコー小規模浄化槽浄化王NEXT-5,7型	H25.10.24	R8.10.23
17	2810502	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCA-5,7,10型	H27.2.26	R10.2.25

18	2820502	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCENeco-5,7,10型	H27.2.26	R10.2.25
19	2870301	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCRX II-5,7,10型	H28.10.27	R6.10.26
20	2880301	(株)クボタ	クボタ浄化槽KZ II-5,7,10型	H30.12.20	R8.12.19
21	2890201	(株)ダイキアクシス	ダイキ浄化槽XF-5,7,10型	H31.2.28	R9.2.27
22	2900201	大栄産業(株)	ダイエー浄化槽FDP-5,7,10型	H31.2.28	R9.2.27
23	2910301	(株)西原ネオ	ネオ浄化そう CNZ II-5,7,10型	H31.4.25	R9.4.24
24	2920201	アムズ(株)	アムズ AXZ II-5,7,10型	H31.4.25	R9.4.24
25	2930101	(株)いえ・VISION	イビ浄化槽IBZ-5,7,10型	H31.4.25	R9.4.24
26	2940001	東洋プラント(株)	東洋プラント小型合併処理浄化槽TPZ II-5,7,10型	H31.4.25	R9.4.24
27	2950001	中衛工業(株)	CHUEI OM III-5,7,10型	H31.4.25	R9.4.24
28	2960201	(株)ダイキアクシス	ダイキ浄化槽XH-5,7,10型	R1.5.27	R7.5.26
29	2970301	大栄産業(株)	ダイエー浄化槽FCH-5,7,10型	R1.5.27	R7.5.26
30	2980101	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCEND-5型	R1.12.19	R7.12.18
31	2990101	フジクリーン工業(株)	フジクリーンCENDeco-5型	R1.12.19	R7.12.18
32	3000101	(株)ハウステック	KRS-5A,5B,7A,7B型	R2.2.27	R10.2.26
33	3010001	ニッコー(株)	ニッコー小規模浄化槽 水創り王-5,7,10型	R2.5.29	R10.5.28
34	3020001	積水ホームテクノ(株)	SGJ-5A,5B,7A,7B型	R2.6.30	R10.6.29

## みんなの広場

### 水環境の保全に携わって

山口健康福祉センター

廃棄物・環境指導班 原田 紘佑

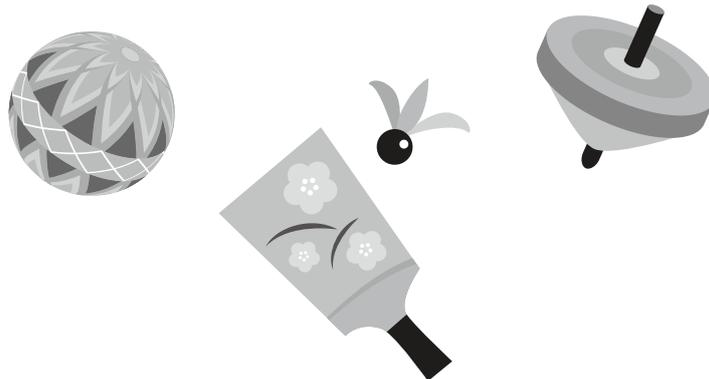
こんにちは、私は今年度から山口健康福祉センター廃棄物・環境指導班に異動になり、主に水環境及び浄化槽業務を担当することになりました。

入庁3年目ですが、昨年度までは、食品衛生や動物愛護・管理等の業務に携わっていたため、初めての異動と新たな業務内容であり、不安が大きかったです。また、お恥ずかしながら、異動するまで「浄化槽」というものを知らず、4月当初は、浄化槽の設置に伴う申請や浄化槽保守点検業者等からの相談など分からないことばかりでした。そのような中、5月に当センターが実施した浄化槽管理者講習会を聴講したことは、浄化槽は下水道が通っていない区域の水質保全に大きく貢献していること、浄化槽の管理方法や管理不十分による環境影響について、知識を深めるものでした。

当センターでは、山口市に設置される浄化槽法に関する業務を市へ委任しているため、防府市の

みを管轄しています。現在、防府市には、約1万基の浄化槽が設置され、年間150件ほどの浄化槽設置届が提出されます。それらの浄化槽の一部には、管理が行き届いておらず、法定検査で不適正となるものもあります。

工場、事業所からの排水については、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法にて厳しく規制していることもあり、今日の水質汚濁の最大の要因は、生活排水であるともいわれています。山口県の豊かな水環境保全のため、水環境及び浄化槽業務を担当している立場として、講習会を通じて、浄化槽管理者である責任を自覚していただき、適切な管理をしてもらえるように伝えていくとともに、法定検査の受検率向上や改善報告書の提出率向上を目指し、水質保全に貢献できるよう努めていきたいです。



## 川柳

あかまつ川柳会

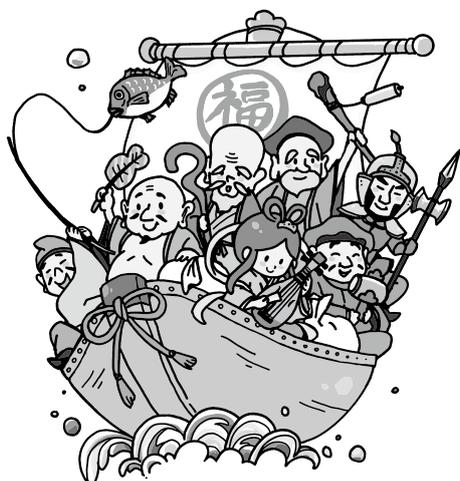
耕して天まで至る人の汗  
 軽く告げる医者と言葉の重いこと  
 カレンダーに○印 今日が無事を感謝する  
 赤らんだ空 神様たちの酒宴かも  
 お手々つないで僕の初恋 純でした  
 受胎告ぐ赤らむ顔の初初し  
 寝転べば草のやさしさ地の温さ  
 八方美人 塩の辛さはまだ知らぬ  
 幾度かは死線を越えた顔の艶  
 くもりガラス磨けば空が近くなる  
 猫トラに化けて ひと吠えアレ掴む  
 ヒトの所業耐えて地球は虫の息  
 ガザ攻防 民の思いを脇に置き  
 犬飼うのダメよ あなたが先に逝く  
 夏みかん維新土堀に萩薫る  
 することのなきは幸福ひなたほこ  
 捕まったのか捕まえたのか共白髪  
 だいたいが ものぐさ身に染む秋風  
 老い無常 誤作動ばかり脳回路  
 並ぶのと号令 苦手 戦中派  
 弱が強 食べる覇気ありウクライナ  
 だいたい銀河の雫 我が地球  
 高止まる燃料代に家軋む  
 辛口の批評を明日の糧とする  
 負け犬も時には いいさケセラセラ

宮本仙舟 宮本仙舟 宮本仙舟 宮本仙舟 宮本仙舟  
 正枝  
 関屋建三 関屋建三 関屋建三 関屋建三 関屋建三 関屋建三  
 静江  
 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟 西田義舟

## 俳句

西田義秀

世の平和安穩願う初詣  
 軽やかにスキップ畔のれんげ摘む  
 年の瀬に参る菩提寺六地藏  
 短日の長き影踏む家路かな  
 旧友の訃報を聞くや枯れ葉舞う  
 靴紐も心も締めて山登る  
 秋晴れや開ける北窓南窓





# 浄化槽 きれいな水を 次世代へ

—— 高橋まりえさん(北海道) ——



## 10月1日は浄化槽の日

私たちは水の明日を考えています

【主催】環境省・国土交通省

【浄化槽の日実行委員】

(一社)浄化槽システム協会  
(一社)全国建設研修センター  
(一社)日本環境保全協会

全国浄化槽推進市町村協議会  
(一社)全国浄化施設保守点検連合会  
(一社)日本空調衛生工事業協会

全国環境整備事業協同組合連合会  
(一社)全国浄化槽団体連合会  
全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

全国衛生事業協同組合連合会  
(公財)日本環境整備教育センター  
(一財)日本環境衛生センター

【賛助委員】(公財)日本水環境学会

